こんにちは！議会です　第193号

松川村議会　12月定例会

認定こども園松川北保育園の職員のみなさん
（後列左から）大塚先生　高橋先生　岑村先生　奥原先生　西澤先生　新開先生
（前列左から）市川栄養士　中島先生　齋藤先生　榛葉園長　小林先生　徳嵩先生　北和田先生

認定こども園松川北保育園

犯罪被害者等支援条例制定…… 10-11P
自転車用ヘルメット購入事業補助金…… 11P
活動のひとこま…… 15P

新年のごあいさつ

議長　大和田　耕一

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症を乗り越えた新しい年明けに、心の引き締まる思いをしています。

新型コロナウイルス感染症によって、数年にわたって様々な制約を受けた私たちの生活は、大きな変容を遂げてしまいました。なかでも大きな影響を受けているのは、長期間人との接触が制限された結果、社会活動が衰退してしまっていることです。メンバーが少なくなって、縮小や休眠せざるを得なくなったサークルはいくつもあります。経済活動は回復傾向にはありますが、未だコロナ前には及ばず、労働力不足・円安等の要因で、復調は未だ途上にあります。

私たち議会は、当初の目標である「開かれた議会」達成のため、「定例会報告会」を継続実施して、村民の方から直接ご意見を伺っています。また、村内の様々なグループや団体の方々との懇談会、意見交換会を実施し、コミュニケーションをはかっています。頂戴した課題やご意見は、議会内で検討し議会活動に活かしています。

松川村は、県下でも「安定した村」との評価を戴いていますが、これから数年のうちに、さらなる飛躍ができる兆しも見えています。議会・議員も歩みを止めずに前に進んでまいります。皆様とスクラムを組み、「住んで良かった村」創りに精進して参ります。

皆様にとりまして、「飛躍の年」となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

12月定例会提出議案　12月5日～14日（全員賛成:◎　賛成多数:○　認定･承認:□　同意:◇）

項　目	件　　名	内　　容	結果
議案第46号	松川村犯罪被害者等支援条例	犯罪被害者等基本法(平成16年法律第1616号)に基づく犯罪被害者支援新条例制定。	◎
議案第47号	松川村下水道事業の設置に関する条例	公営企業会計移行に伴う、関係例規整備。	◎
議 案第48号	松川村印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	個人番号カードの本人確認書類追加、スマホ用電子証明書搭載サービス利用追加。	◎
議案第49号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に伴うもの。	◎
議案第50号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に伴うもの。	◎
議案第51号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に伴うもの。	◎
議案第52号	松川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	関連する法律、政令等の改正に伴うもの。	◎

議案第53号	松川村手数料徴収条例の一部を改正する条例	戸籍法改正によるもの。	◎
議案第54号	松川村営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	優先的に入居させることができる者の範囲を見直し。	◎
議案第55号	令和5年度松川村一般会計補正予算（第8号）	歳入、歳出それぞれ1億9313万円を追加し48億9108万円とする。	◎
議案第56号	令和5年度松川村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	歳入、歳出それぞれ4544万円を追加し10億1194万円とする。	◎
議案第57号	令和5年度松川村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳入、歳出それぞれ54万円を減額し1億3467万円とする。	◎
議案第58号	令和5年度松川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	歳入、歳出それぞれ609万円を追加し6億1553万円とする。	◎
議案第59号	令和5年度松川村水道事業会計補正予算（第4号）	水道事業費472万円追加し1億7759万円に資本的支出1269万円追加し1億3703万円に。	◎
選挙第1号	選挙管理委員の選挙	榛葉武夫氏、西山忠生氏、鈴木惠美氏、佐藤定二氏、を承認。	□
選挙第2号	選挙管理委員補充員の選挙	順位1位 白澤章一氏、順位2位 仁科意津雄氏、順位3位 藤山悟氏、順位4位 立花もと子氏を承認。	□

12月定例会で決まった主なもの

【議案第46号　松川村犯罪被害者等支援条例】

○条例は、被害者の尊厳や権利の尊重、迅速かつ公正な支援を盛り込み、被害者への支援金支給や村民理解を深め二次被害・再被害防止するなどを明記した。支援金は、犯罪等により重傷を負った場合は10万円、死亡時には30万円。

【議案第55号　令和5年度松川村一般会計補正予算（第8号）】

○補正1億9313万円の主なもの

・すずむし荘大規模改修2期工事　8580万円
・低所得世帯物価高騰支援交付金　6020万円（@7万円×860世帯）
・移住定住補助金390万円　（転入4、転居1）
・自転車用ヘルメット購入支援事業　14万円：本年度から着用が努力義務となった本件について、県が村を通じて高校生・高齢者を対象とした自転車用ヘルメット購入助成を松川村独自に小中学生にも対象を拡大する。今後の普及、拡大と重大事故の防止につなぐ。対象は今年度末に7~18歳･65歳以上に最大2000円を補助する制度（村内購入対象）

請願・陳情

項　目	件　　名	内　　容	結果
報告第11号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書（請願者：松川村公立学校職員組合）	採　択　意見書提出	◎
報告第12号	「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書（請願者：松川村公立学校職員組合）	採　択　意見書提出	◎
報告第13号	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」を求める請願書（請願者：松川村公立学校職員組合）	採　択　意見書提出	◎
報告第14号	生活保護基準を引き下げ前に戻すことを国に要望する意見書提出を求める陳情書　（陳情者：大北生活と健康を守る会）	趣旨採択　意見書提出	◎

12月定例会一般質問

一般質問の様子を松川村ホームページ内の松川村議会「議会中継」で見ることができます。
QRコードからアクセスして各議員の一般質問の様子をご覧ください。

12月定例会一般質問　5人の議員が登壇

令和5年12月12日

※原稿は本人の責任・編集によるものです。

梨子田長生（なしだおさお）

土地・家屋の現状

Q　村内の所有者不明土地は。

A　約2414万㎡に対して、5846㎡の0.02%である。

Q　相続登記が令和6年4月1日から罰則付き義務化されるが。

A　知った日から3年以内に正当な理由がないと10万円以下の罰金に処せられる可能性がある。

Q　令和5年4月27日に相続土地国庫帰属法が施行されているが。

A　申請は法務局で一定の要件を満たすと土地を国に帰属させることができる。

自主防災組織のあり方

Q　防災に対して住民の皆さんの認識は。

A　非常に関心が高いと思う。

Q　区に防災士や消防経験者の設置は。

A　今後は区長会などで相談していく。

Q　聴覚障害者の連絡方法は。

A　来年4月から防災行政情報配信システムを活用して周知していく予定。

平林　幹張（ひらばやし　みきはる）

地域医療の充実

Q　5類移行後のコロナ情報とインフルエンザ等の猛威対策。

A　国の措置法に基づき遺憾のなき様に対処する。

Q　村の新型コロナウイルス感染症の総括・検証について。

A　村レベルの検証等は困難、国・県の検証結果を参考にする。

Q　今期医療圏の「医療の質向上対策」。

A　医療関係者と行政の懇談会で要望・陳情を行い充実を図る。

農業振興

Q　「地域計画」策定上の農地利用集積。

A　中規模以下の農家の実態意向調査を精査し課題解決に向けた取組実施。

Q　促進計画、許認可権限の委譲について。

A　条例による事務処理の特例は、長野県から示されていない。

Q　農地バンク活用の農家負担無しの基盤整備事業、地域集積協力金等について。

A　詳細な基準があり地域計画策定時、話合いの場で説明。

林業振興

Q　森林環境税本格稼働と事前、森林環境譲与税について。

A　森林環境譲与税を活用し林業基本計画を自立圏で実施。

12月定例会一般質問　5人の議員が登壇

令和5年12月12日

※原稿は本人の責任・編集によるものです。

子育て支援策と「育休退園」問題

矢口あかね

Q　政府による、様々な少子化対策が練られているが、「こども誰でも通園制度」は本当に子どものための制度か？という声もある。子ども未来戦略方針の具体策は。

A　給食費や通学費の助成、医療費の無償化などの経済支援・育休取得の啓発による社会の意識変革・妊娠期から子どもが18歳になるまで専門家が伴走し、切れ目なく寄り添う支援など。

Q　3歳未満児を保育園に預ける母親が、下の子を出産し、育休を取得すると、上の子が原則退園になる「育休退園」が問題となっており、新聞報道でも反響を呼んでいるが。

A　子どもの年齢と保護者の仕事の状況により保育の必要性の有無が決まる。村では年少以上が継続して保育が必要と判断している。事情によっては一時保育もある。

Q　育休は出産・育児の準備の期間でもある。また、突然保育園での学びを止められた上の子の心の混乱はどうなるのか。

A　各家庭の育児方針があり、保護者が選択して決めている。

松川村農業の諸問題

平林　泉

Q　農業者の高齢化、後継者不足は松川農業の喫緊の課題である。村民に困り事や今後の課題や要望について「ヒアリング調査」したか。

A　令和元年12月アンケート調査。結果は現状維持46％、高齢化で今後継続困難23％、やめたい8％、縮小6％、規模拡大5％、営農農村支援センターへの相談は一件。

Q　市町村に義務付けした地域計画策定の進捗状況は。

A　12月14日までに配布。1月5日までに回収、村内で話合う。その後検討委員会を立ち上げて検討する。

Q　松川村管内農業産出額と商品構成は。

A　生産額は約16億円。米63％、果樹16％、野菜11％、畜産3％。

Q　水田活用の直接支払い交付金の「戦略作物助成」及び「産地交付金」の状況を説明いただいたが、今後2年から3年先の交付金の総額の変化は。

A　国の指針に沿って我々は準備している。申請が減らない限り交付金は今後も今の前後を推移すると考える。

村長5期20年の村政を問う

大和田耕一

Q　20年間の村政の中で、決断に苦慮された事案とは。

A　一旦取り壊しを決めた旧第2倉庫（緑町中区）を、耐震補強して存続させることを決めたことが、最も大きな決断だった。

Q　現在松川村の評価は非常に高いが、今後更に成長させ、村民福祉を向上させるための課題は？

A　①少子高齢化対策。②村内商店や商業を元気にする。③JR大糸線の活性化（松川駅への特急停車）。

Q　39億の基金を、後任の村政でどのように活用して行くべきだと考えるか。

A　今の基金は今の人に使う。『塞翁が馬』という言葉が好きで、100円を使って、110円になって帰ってくる。そんな活用をして頂きたいと思う。

Q　村長の年齢に負けないパワーの秘訣は。

A　気の持ちようだと思う。「他市町村に負けぬよう、いつも明るく元気よく。」この言葉を合言葉にしてきた。

各常任委員長に聞く

二年間を振り返って

総務建設産業委員長

当初は、取組課題抽出を実施、産業振興に関し農業委員会、各種農業団体・林業関係団体、商工会、観光協会等との懇談会、地方創生や災害（防災対策）GX推進等の学習・視察等を企画しましたが、コロナ等の影響で、折衝段階で鈍化しました。実施は、「北アルプス信濃の森工場」、森林組合「木質バイオマスセンター」、埼玉県「関東地区昔がえりの会」群馬県「小水力発電所」でした。

社会福祉文教委員長

教育・福祉関連を主に所管している委員会です。自己及び委員会の資質向上のためにも、議員研修として国会での質問の仕方等の研鑽や福祉車両総合メーカーでの研修が印象に残っています。村のために役立てたいと思います。

議会報委員長

議会の申し合わせにより副議長が議会報常任委員長を兼務することになっており担当して7回目の発行となります。私自身力不足でしたが幸いなことに議会報編集委員4名と議会事務局長や事務局員その他の関係者の皆さまからのご支援ご指導に対して心より感謝申し上げます。

今後の委員長への助言や希望は？

総務建設産業委員長

新型コロナウイルス感染症の影響で、低迷を続ける経済・産業に対し課題はさらに山積している。また国際的な紛争が世界経済を大きく変貌していることが日本に於いても物価高騰等の影響が大きい。こうした事も含めて「継続は力なり」と正に今期までに実施できなかった様々な課題解決のための研鑽が必要と思いますし、新たな問題も加えた活動を期待致します。

社会福祉文教委員長

こども真ん中社会実現のために全ての人が、こどもや子育て中の方々の応援をする、意識改革を社会全体で推進と福祉は、きめ細かい包括的なサービスを提供する仕組みの構築が必要と思います。以上お願いしたい。

議会報委員長

今後の議会報「こんにちは！議会です」を村民の皆さまに手に取って読んでいただけるように、新常任委員に取り組んでもらえたらと期待しております。村民の皆さまからのご意見やご感想をお寄せいただけると幸いです。今回で193号となり、年4回の発行からして、48年以上の歴史があり先輩委員の皆さまに敬意を表します。

活動のひとこま

10月から12月に行った主な議会の活動

大北市町村議会議員交流会	10／4	議員	11名
小学6年生議場＆質問　学習	10／5・10・13	議員	5名・10名・8名
給食センター運営委員会	10／5	社会福祉文教正副委員長	
南北保育園運動会	10／6・13	議員	7名・8名
小学校150周年記念陸上自衛隊コンサート	10／10	議員	9名
台湾訪問団歓迎行事	10／11	正副議長・総建、社文両委員長	
池田松川施設組合議会	10／12	正副議長・社文正副委員長	
第11回　議会打合せ会	10／16	議員	12名
DX推進計画説明会	10／16	議員	12名
視察研修	10／17～18	議員	12名
すずむし荘　視察　懇談会	10／19	議員	10名
観光協会ウォーキング部会	10／19	上田・石腰・梨子田議員	
長野県町村議長会　定期総会	10／23	議長	
全国監査委員研修会	10／24～25	矢口議員	
安曇野ちひろ公園花壇作業	10／25	三崎議員	
第12回　議会打合せ会	11／2	議員	11名
村ほう章式典	11／3	議員	11名
日本酒酒蔵祭り	11／3	議員	7名
暴力追放交通安全村民大会	11／12	議員	9名
ナイターソフトボール大会閉幕式	11／12	議員	7名
プランター回収作業	11／16	議員	8名
定期監査	11／16～24	矢口議員	
小学校150周年記念式典	11／20	議員	10名
北アルプス広域連合議会	11／20	正副議長・山中議員	
穂高広域議会	11／24	正副議長	
第67回町村議会議長会全国大会	11／29	議長	
福祉功労者表彰式	11／29	副議長・社会福祉文教委員	
第13回　議会打合せ会	11／30	議員	12名
12月定例会　開会	12／5～14	議員	11名
村農村生活マイスターとの意見交換会	12／7	議員	10名
北和田砂防堰堤視察	12／8	議員	11名
信濃国松川響岳太鼓　ばち納め演奏会	12／17	議員	9名
年末交通安全交通指導所	12／19	総務産業建設委員	
土地利用 説明会	12／22	議員	12名

大北市町村議会議員交流会（10／4）

大北5市町村による、議会議員交流会が小谷村観光交流センター・やまつばきにて開催されました。

第1部　講演会「アウトワード・バウンドの人間教育」
第2部　懇談会　中村小谷村長を始め、総勢68名が参加。

議会研修視察

10月17日・18日に議会研修視察で群馬県・埼玉県を訪問しました。

埼玉県上里町の玉ねぎ生産供給センター（昔がえりの会）は、大量の食品を消費する首都圏の食品メーカーの惣菜工場等を近隣に誘致して、業務用野菜の契約栽培をするところです。事業や農業機械の導入に補助金を使い運営しています。松川村と違い、消費の多い首都圏が近いのが良いところです。その後、群馬県川場村道の駅「川場田園プラザ」を視察しました。この道の駅は「じゃらん」全国道の駅グランプリにて2022年2023年、2年連続で第1位を獲得しています。販売されている物は地元で作られた物ばかりで、施設内にはヨーグルトやソフトクリームのミルク工房や、ビール工房、パン工房などがあります。松川の寄って停でも参考にしたいものです。

同じく、川場村の川場谷小水力発電所では、令和3年に完成した小水力発電施設を視察しました。松川村の芦間川でも同じような施設が計画されているようです。川場村のこの施設では年間130万KWの発電量で一般家庭260世帯分とのことですが、温室効果ガス排出量の削減にもつながります。

続いて埼玉県加須市の㈱ミクニライフ&オートを研修視察しました。この会社は主に身体の不自由な方向けの福祉車両を設計から架装まで展開している企業です。「すべての人に移動の自由」をモットーにバリアなく移動できるための商品やサービスも提供しています。車いすの方が使用する車いすをリモコンで自動収納、自動取出しをする装置（オートボックス）を実演していただきました。今後の高齢化社会や社会福祉に貢献できる企業であると思います。

◀川場村の小水力発電所

▶福祉車両架装の工場

表紙の人・村の施設

認定こども園松川北保育園

役場庁舎の西に位置し、園庭の南には中央公園があり、木々に四季の変化が感じられる場所に保育園があります。

保育園は児童福祉法第39条の規定に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設です。

北保育園は「保育所型認定こども園」となっています。保育所と幼稚園の機能が合わさった施設となり、保育園と同様に法的性格は児童福祉施設です。3歳未満児に関しては「保育を必要とする子ども」が入園の要件を満たしますが、3歳以上児に関しては保育の必要性がなくても、入園することができます。

現在、園児数は、年長33名、年中38名、年少29名、未満児、36名で、職員は、園長1名、保育士33名、保育補助1名、事務職員1名、栄養士1名、調理員3名で日々の保育にあたっています。

園長は「子どもたちが安全・安心に過ごせることを一番に考え、安全が確保された環境の中で安全に生活し遊べること、先生との愛着関係の中で安心して過ごせることに常に気を配っています。子どもたちと毎日接する中で、子供の笑顔や満足した顔を見ることができ、その成長を間近に感じられること、また、自分自身も子どもと一緒に成長していけることがやりがいです。」とおっしゃっていました。

保育園の先生方は、松川村の子どもたちの心身の成長を図る一翼を担い、未来の松川村を担う子どもたちのために、日々頑張っていると感じました。

本会議の様子をインターネットで無料配信しています。
「松川村議会」
で検索してください。

議会報の表紙は、村の施設とその施設で働く人が登場します。お楽しみに！

編集後記

昨年一年を振り返ってみて、五月八日より新型コロナが感染上分類で五類に引き下げられて、いままで出来なかった行事が復活しました。

一番の大きな行事として、ふるさと祭りの賑わいではなかったかと思います。

夏の暑さが異常に長く続き、秋が短くすぐ冬になってしまったように感じました。

インフルエンザが一ヶ月早くから流行して学校では学級、学年閉鎖になって猛威を振るっています。

今年も暖冬予報で雪の量も昨年並みに推移しそうです。

インフルエンザやコロナに感染しないよう注意しましょう。

小山　育一

議会報常任委員会
委員長　茅野　靖昌
副委員長　小山　育一
委員　石腰　隆史
平林　幹張
宮﨑　昭利

発行　松川村議会　〒399-8501　長野県北安曇郡松川村　TEL 0261(62)3111　FAX 0261(62)9405
編集　松川村議会報常任委員会　ホームページアドレス　http://www.vill.matsukawa.nagano.jp